

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	献血及び献血推進協議会に関すること（保健事業費）				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実	総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 1 保健衛生総務費	事業 2 保健事業費
-----	---------	-----------	-------------	------------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 東大和市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 85,455人（平成31年3月1日時点）
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 献血事業を理解し協力する	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 献血者総数
	③ そのために何をしましたか。 市内での献血実施、ホームページ・コミュニティビジョン・チラシ配布等による広報	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①市内での献血実施回数 ②うち、市役所での実施回数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	85,942	85,728	85,455	
	成果指標	②の数値	人	399	333	317	
	目 標	②の目標値		344	399	333	
		目標値設定の考え方	前年度献血者総数の維持				
活動指標	③の数値	個	10	①8 ②3	①8 ②3		

3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,653,400	1,650,600	1,648,800		
職員人件費(再任用)		円					
事業費十人件費		円	1,653,400	1,650,600	1,648,800		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 開始時期不明。東京都赤十字血液センターと連携し、地域における血液思想の普及と献血の推進を図る。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 なし

仕 事 の 内 容	献血及び献血推進協議会に関すること（保健事業費）				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村明子

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	献血実施のチラシを自治会内に配布し、周知に協力したい。				

6 市民協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	②東大和市献血推進協議会		
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 年1回開催される献血推進協議会で、貴重なご意見をいただくことができました。					

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	200ml 献血の希望者に対して必要量が少なく、献血する意思があっても実際にできない人が出てしまった。400ml 献血を優先的に奨めたい。また、実施時間を延長したことにより献血者数が微増した。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 市報やホームページ等での市民への周知及び庁内放送やグループウェアでの職員への周知を実施した。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
献血実施者数が減少している。					

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 今後とも市報・チラシ・ホームページ・コミュニティビジョン等を活用して告知を行う。 日本赤十字社が作成した啓発用ポスターを市役所及び保健センターに掲示する。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 引き続き、献血実施の協力依頼（赤十字血液センターが主に調整を行う）				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
	成果	成果を向上させる。			経費